ポート・ルック

ミニとケープ

福富芳美〈明石女子短大学長・神戸ドレメ院長・大丸顧問デザイナー〉

赤い鼓型の鉄骨が如月の風にさらされています。
ギィー、ギィー。ランチの音。
ざぶ、ざぶー。ざぶ、ざぶー。波の音。
そんな港の冬の風に、ネビーブルーのケープはヒラヒラとはためいて
ミニルックのひざっ小僧をかすめています。
スカートはオリーブグリーンの地に黄、オレンヂ、紺のチェック。
ケープをぬいだ衿元はオレンヂ色のタートルネックのセーター。
そしてケープと共布のベストは小さな金属性のダブルボタンが
ミリタリーな感じです。
今、ニューヨークでは学生がケープを着て通学するのが流行中。
ミニスカートにはケープの丈がバランスとして、とてもよく似合うことが原因でしょう。

★今月のマドモアゼルは岡本孝子さん(21才)。
成徳学院を卒業して、目下神戸ドレスメーカー女学院で洋裁を勉強中。
清潔な明るい感じの岡本さんは、おしゃべりすると、
お茶目な面もみられる素敵なお嬢さんです。

神戸にそだって　７０年

風月堂

元町３丁目　TEL㊴2412～5

さんちかスイーツタウン　TEL㊴3455

★バレンタイン・ケーキは昨年大変好評でした。今年もぜひどうぞご予約を！
350円～1000円

ヴァレンタイン♥デート

2月14日は　聖バレンタインデー
愛の日です。ハートのこもったプ
レゼントで彼をタックルしょう。

今年の初詣は、生田神社へ揚げ羽蝶のお振袖に、ダークスーツのカップルや、ミニルックの真赤なコートに結城の着物のカップルなど、古典と現代が巧みにバランスをとって歩いている姿が眼についた。「なんでこないに初詣デイトが流行るんかいナ」とボヤイたらわがおばあちゃんいわく「そりゃそうや、天気はええし、ええ振袖つくっても皆に見てもらうのにはお祭りが一番や。晴れはするし、霊験あらたか縁結びはしてくれはるし、家で寝正月ではお振袖が泣きますやないか」「ナルホド・ナルホド」。初詣デイト繁盛の原因はこの辺にあるようだ。

さて正月のデイトコースはもう〝済んじまっただ〟ということで、二月はまたもやデイトのチャンス到来。聖バレンタインデー。二月十四日。バレンタインさまにあやかってまたもや縁結びをしてもらおうということになりますかナ。それにこの愛の日は、女の子ちゃんの方からハートのケーキやチョコレートをプレゼントすれば、I LOVE YOUの対話が彼に通じるという日なんだから結構。でもただこれくらいの作戦では彼のハートは射止められませんぞ。では虎の巻、神戸のバレンタイン・デイトのコースをご紹介しましょう。

★ポート・コース＝まずスポーツカーがほしいところ。（タクシーでも結構です）、三宮から一路名神へ。というところをちょっと灘の里へUターン。阪神御影駅の方に入る北西角にある創業天保元年の〝虎屋〟で酒まんじゅう（一コ十五円）を買って、灘の酒倉の方へ南下する。まず菊正の看板が眼に入ったらこの近辺で **菊正酒造記念館（TEL　八五―二二七五）** はどこ？と聞くこと。灘の生一本の歴史の重みがずんとこたえるこの館は、のんべいの彼なら感嘆しきり間違いナシ。昔の酒造りの様が楽しく見られる。酒の匂いだけをかがせて灘の浜へ。ここから一路灘埠頭からダイナミックな石油タンクや神戸製鋼や川鉄の工場を眺め、ポートアイランドはこのあたりに出来つつあるのでその様子や、摩耶埠頭のコンテナバースなど神戸港の未来図を、酒まんじゅうをほほばって眺める。摩耶埠頭の先から、やじろべ橋がくっきりとカーブを描いているのが美しい。三

▶コスモポリタン

▶和風茶寮鳳月堂

十円也のハイウェー代金を支払ってさっそうと五突・四突の外国航路の船々の世界の香を身につけよう。そして眺める海とカモメと灯台は、夢のある二人の世界をつくる!?ことうけあい。さて次は税関から噴水をとおり京町筋の**オリエンタルホテル**へ。スカイレストランで食事をするかまた向いの神栄ビル7階の**ブラン・ドゥ・ブラン**でも良い。ここでお茶だけはのまないで電車道をこえた**コスモポリタン**へどうぞ。愛の言葉の書いてあるハートボックスをお買い忘れなく。のみものはコスモコーラ（七十円）か紅茶で、お好みのチョコを選んで、一〇〇g買い、二人で甘く味わって下さい。ハンド・メードの最高のチョコの味覚。そしてハートボックスは彼へおみやげ代りに何げなくプレゼント。まずは新しいポートコースのご紹介。

★北野町コース＝まずさんちかスィーツタウンのサテスタ前の**和風茶寮鳳月堂**でデイト。アイスクリームかまっ茶と和菓子でスタート。ハートケーキはフランス菓子でピンクの可愛いデザインをどうぞ。

三宮から加納町三丁目へテクテク。とにかくこのコースは歩いてゆこう（車をたよってはいけない）。**アカデミーバー**は3時開店なのでとまり木でまず乾杯。いがいにここはアベックが多いからご遠慮なく。北野町へ入って、交番所（ポリボックス）の向いにある**YANAGASE**で軽い食事を。暖炉の火が燃えるゆったりした室内で、たっぷり二人の語らいを。そこで若い二人に**北野ボール**でボーリングをおすすめするとしよう。少しは胃の調子も良くなりますよ。そして**北野クラブ**でダンスはいかが?。あたしは踊れないといわれる方は二階の**コラルキタノ**のBARでブランディでも飲んで下さい。神戸の夜景をサカナに気分のさわやかなことこの上ナシ。ムードも百点満点。

あとは坂道を二人で手をつないで散歩。西へ行けば異人館が、山下新日本汽船の風見鶏の館や、小林秀雄邸などをゆっくり彼と見物しょう。坂の町神戸を北野町界隈ほど感じるところは少ない。トロトロと石の道を下ってくれば、**にしむら**の宮水のコーヒをラストシーンにするのも良い。淋しがりやの彼ならば、GOGOでにぎやかに。**ピノキオ**まで足をのばし、コーラとピザで二時迄は楽しめる。外人も多いからエキゾチックな北野コースのフィナーレにふさわしい感じ。

以上二つのバレンタイン・デイトのコースを二つご紹介。さてあなたのお気に召すかどうか……。要は実行が肝心。一度あの方をでんわで誘ってみてはいかが!

HAPPY VALENTINE

港の見えるレストラン
コラルキタノは
デートコースに最適です

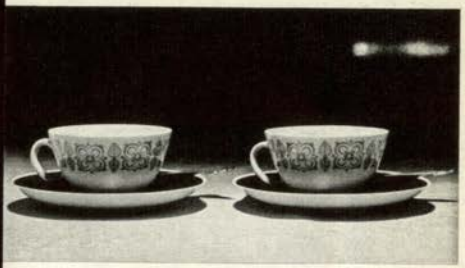
*

KITANO CLUB
Restaurant
CORAL KITANO
北 野 町　Tel. 23－2251

KITANO CLUB JUNIOR
RESTAURANT
Blanc de Blanc
ブラン　ドゥ　ブラン
Tel. 32－1455 京町77-1 神栄ビル

FEBRUARY

木	1
金	2 16
土	3 17
㊐	4 18
月	5 19
火	6 20
水	7 21
木	8 22
金	9 23
土	10 24
㊐	11 25
月	12 26
火	13 27
水	14 28
木	15 29



スイス、ランゲンタール社ティーカップ"ジュネス"

トランスグローバル

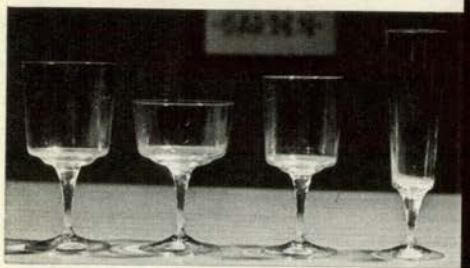
本社★神戸〈22〉2603　営業所★東京・名古屋

特約店★クロス★トア・ロード〈39〉1781

マーガレット・ウェインさん(14才)はオーストラリアに国籍を持つ、カナデイアンの九年生。

水泳、スケートとシーズンを通じてスポーツを楽しみ、絵を描いたり各国の切手をコレクトするのが趣味という可愛いお嬢さん。

＊ エキゾチック・コウベ〈10〉 ＊



スイス、ランゲンタール社クリスタルワイングラス"シャトー"

★トランスグローバル・ショールーム

シャス
CHASSE
神戸国際会館Ⅰ階
TEL 22－8161
京都丸物百貨店2階舶来ショップ
TEL 京都 075（36）1111

★乗馬用専用ショールーム

ELDONIAN
神戸国際会館Ⅰ階
〈内線 331〉
TEL 22－8161

★アクセサリーと服飾の店

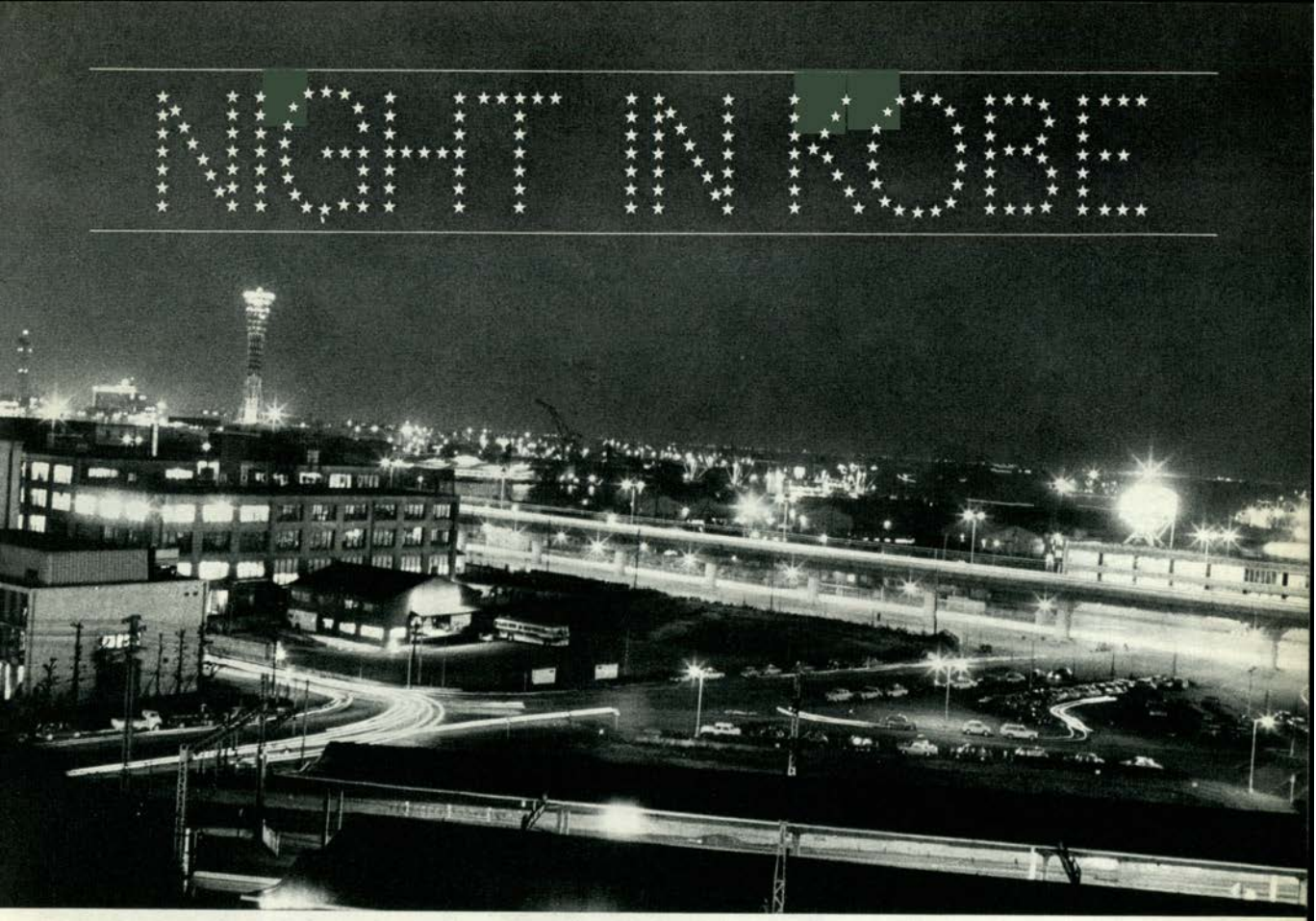
太津 TAZU
神戸市生田区三宮本通
TEL 39－4780

MARCH

金	1	
土	2	
㊐	3	
月	4	18
火	5	19
水	6	⑳
木	7	21
金	8	22
土	9	23
㊐	10	24
月	11	25
火	12	26
水	13	27
木	14	28
金	15	29
土	16	30
㊐	17	31

●ダナ・ガーデンにて

NIGHT IN KOBE



西の空に、
太陽が沈むと、
やがて、神戸の街は
華やかな夜の輝きに
色どられる。
明滅する街の灯り。
冷たく光る星空に、
赤く、くっきりと
浮かぶポートタワー。
その横を、東西に、
阪神高速道路が、
白く、空間を貫く。
夜更けの神戸を
走りすぎる車。
明るい光の帯が、
後方へ飛んで行く。
停泊中の船は
黒い海面に、
船体を休ませ、
マストの灯りが
波間に揺らめく。
夜の港は静寂だ。

夜の静けさの中に、
置き忘れられた、
像のように立つ、
二つのシルエットを
永遠の時間が包む。
神戸っ子の心を、
慰めるプロムナード
と噴水広場。
都会のざわめきを、
若者の夢と憧れを、
笑いと悲しみを、
すっぽり包み込み、
噴き上げる水しぶき
に託して、そっと
ささやきかえす。
ある時は、
愛のメルヘンを。
ある時は、
甘美なポエジーを。

NIGHT IN KOBE

NIGHT IN KOBE

ハイカラな
神戸の街並みに、
エトランゼの姿が
何の不自然さもなく
調和する。
ウィンドーには、
奇抜なデザインや
カラフルな商品、
舶来ものが並び、
エキゾチシズムが
漂う。英語、フラン
ス語、聞きなれない
言葉が飛び交い、
外人、若者、紳士、
淑女、ミニ、和服姿
カッコイイスタイル
が混然ととけあう。
コスモポリタンな街
神戸の夜は、遠くに
霧笛をききながら
静かにふけていく。

カメラ・奈良勝彦

澄明な野原に座り少し頭の中を空にしてお茶を喫む。そんな風になればと小さな室内のデザインとせとものの絵附けを考えました。玉露、煎茶と菓子、栗ぜんざい、あんみつ、コーヒ紅茶もございます。ぜひお立寄り下さい。

高級和菓子

茶寮 杉

神戸三宮・阪急西口

TEL 32－2414

昔懐し栗ぜんざい 200円

鰻・おでん

竹葉亭

三宮・楽天地
TEL 33—一一二〇・一一四〇

日頃はウィスキー党のぼくもおでんの季節になるとやはり日本酒ということになる。さかなが自然にさけを選んでしまうのである。竹葉亭で忠勇の樽酒の芳醇な香りを口にふくむと、これまた自然にまづはんぺんから、ということになる。ここのはんぺん、すじ、竹輪の類は東京から直送されてくる。おでんの時期（10月～5月）には本命の鰻から遠ざかりがちだが、竹葉のうなぎ、うなぎの竹葉なのだから勿論四季を通じて口にする。店の前を通ると匂ってくるあの、いわゆる「鰻番」に堪らなくなってふらりと入ることも多い。背割きの純東京風の焼き方だが、鰻を焼いて四十年という職人さんの腕が、その味に風格とでもいいたいものをつくりあげている。この方のお伴は水割りでもビールでもその時次第だ。風格といえば、店の造りや器物類、サービスの女性たちも含めてしっくりと統一されたごく自然な民芸調の雰囲気のなかに包みこんで賞味させるところはやはり老舗だし、故柳完悦の直接指導による開店当時以来の美しい民器に対する愛着の姿勢が崩れていないのもさすがだ。

赤根和生
（美術評論家）

和風カウンターで
日本料理をどうぞ
気軽なおネダンで
評判です。

割烹 古紋

でんわ 34−0240

神戸市生田区花隈町45

営業時間 P.M. 5：00〜A.M. 1：00

くらぶ 花くま

でんわ 34−5129

おしらせ——松の家の南側に駐車場をつくりました
どうぞご利用下さいませ

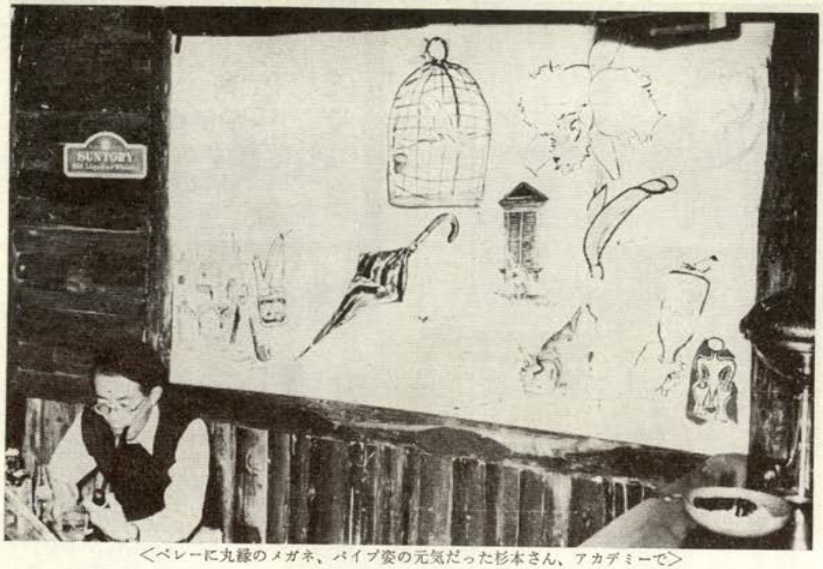
シックな
あなた
スポーティな
あなた
フレッシュな
あなた
エレガントな
あなた
キュートな
あなた
ジュニアから
ミセスまで
あらゆる
おシャレが
楽しめる店
——ベニヤ

婦人服飾

ベニヤ

三宮センター街　39：5529
〈サンキュウイイフク〉
さんちか〔レディスタウン〕　39：1204
東京・東急百貨店　211：0511
日本橋店

●THE ACADEMY BAR STORY
幹林院酒肆物語



<ベレーに丸縁のメガネ、パイプ姿の元気だった杉本さん、アカデミーで>

わずらわしい人間関係に疲れて、山の奥深くへやって来ました。鳥の声と河の流れの音だけ、ほかに何もありません。魑がどこかへ吸いこまれるようでした。人間が死ぬ時はきっとこういうようなものだろうと思いました。

そうだ、この気持で娑婆へ行って残りの生涯を愉しんでやろうと思います。描画ながらそういう気持でごらん下されば、「静」かな何かを感じさせるものがあったらめっけもの。

（33・11・2）

幹林院酒肆

杉本　栄一郎

安部正夫様

葉書きを裏がえすと、山の森のなかの風景が、淡彩画で描いてある。

「私の家宝ですよ」

と安部さんは四十枚近い杉本さんからの絵葉書の束を出し、見せて下さった。十四年前から杉本さんが亡くなる前まで、この心暖たまる葉書がつづいている。一枚の葉書にこれほど人生を感じたのは初めてであった。

「ぼくが、てっちゃんの店へ顔を出しそめたのは、昭和二年だから二十四・五才。日本郵船神戸支店へ来たときです。阪急・上筒井の終点から北側を東にゆくと関西学院があって、関学にぶつかった、その北側にありましてね」

以来四十数年、神戸を離れることもあったが、杉本さんの店「バー・アカデミー」は、安部さん（オリエンタルホテル社長）の酒歴のなかでも、心のふるさとであり、杉本さんは良き酒友であった。

「何時行っても酒瓶はピカピカにみがいてあるし、柵も光っていました。ベレーをかぶってたっちゃんは、サッパリと嫌味がなく、明るくて朗らかなくせに、ちゃんと秩序のある優しい人でね。店はいかにも親しめる雰囲気があるんだ。酒にまちがいがなく、てっちゃんは皆から、うるさいからと現金払い。酔っぱらいが入ってくると押しとどめ、ムリな酒はのませないんだ。とにかく人に強いるということが全然なかったね。ぼくは、いつもジョンヘーグのゴールドレベルだったが、今は元会社がなくなってジントニックのんでいるが、客の好みも心得たもんでした。今は次男坊が親父の後を守っています。花隈の芸者衆がよくひいきにして、あるときはその人達の相談をうけている風でしたよ」

安部さんは、キャプテンとして外国航路を経験した人らしく、バー・アカデミーのカウンターに立ったままで、左ヒジをつき、ぐっと手前にジン・トニックのコップをひきよせて、パイプをくゆらせながら飲む。風格ある英国スタイルだ。アカデミーのなかでは、歌舞伎の型のように、それがさっときまる。

七年前。作家の司馬遼太郎氏が、神戸っ子に「ここに神戸がある」というルポを連載することになって、まず訪れたのがバー・アカデミーであった。ここにその2号目に記した司馬氏のアカデミー感を再録してみよう。

――私は大阪で生まれた。無智がまるで大阪人の特権であるかのように、神戸を知らない。

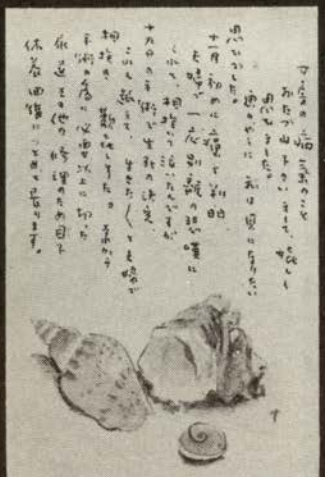
「神戸とはハイカラな街らしい」という概念だけを持って三十八年をすごした。神戸には数度きた記憶はあるが都心部へきたのは、はじめてといっていい。

酒場アカデミーはカノウ町にある。正確にはヌノビキ

〈左から二枚目の写真はアカデミーの前で杉本夫妻〉

少い貴重な時間をさいて
お来訪下さいまして
"フィレンダンケ"です。
愛されること。
愛すること。
それ以外に地上では
することは何もありません。
（32・5・12）

四月上旬に女房は
九死に一生を得て
退院、目下、病臥中の
苦労や、親切にして下さった
皆さまのことを笑い
顔で夫婦で語りあえる
心境になりました。
どうもお礼の申しようの
ないことでした。
ありがとう。
34・6・1



町になるらしいが神戸ではカノウ町のアカデミーのほうがわかりがいい。マッチのおもてには「翰林院酒肆」とかいてある。この重厚な工芸的美しさのある五個の漢字を、主人の杉本栄一郎氏はひそかに愛しているらしい。店は十八世紀の内部をおもわせる造りで、いわゆる風俗営業のバーではないために営業用の女性はいない。

酒なかばにして、主人がようやくあらわれた。テレビを見ていたのだという。客は酒をのみにくるものだ。主人の愛想顔を見にくるものではあるまい。という堂々たる見解が、六十三才の風ぼうに出ている。

「若いころは明治屋にいましてな」

明治屋では入港船に商品を入れる係だったという。船内を見まわって、そこでバーというものをはじめて見た。これをオカでやってみたいと思った。

「最初、店は、上筒井の関西学院のそばでやりました。そのころ学生だった竹中郁さんもきてくれましたし、先生の阪本勝氏や、河上丈太郎さんもきてくれましたよ」

「創業は何年です」

「大正十一年でした」

私はまだ生れていない。その前年である。おどろいて

「かれこれ四十年になりますな」

「ええ」

無造作にこたえたが当時はバーというものが日本じゅうに、まだなかった。近所の人は、最初クスリ屋だと思ったという。

「日本最古のバーじゃないですか」

「そうなりましょうな。大阪や東京の古いバーもその後つぶれたり代がかわったりして。続いているのはここだけのようですな」

「なるほど」

神戸という町は、ハイカラの伝統の根がふかい。毛唐の物真似は日本じゅうでやっているわけだが、神戸ほど伝統のある町はないだろう。だれがどんな服装で歩いていようと、それは勝手だ、という個人主義が確立してい

暑かった夏も終って秋が近寄って来ました。相変らず右手を脇の下に引きつけて静かに召上って居られますか、今となればその特異なポーズが神戸の流行となって残っています。
（31・8・29）

ありのままが
一番美しい
それなのに
人間はいろいろと
取替えて
きたなくしている
（34・10・31）

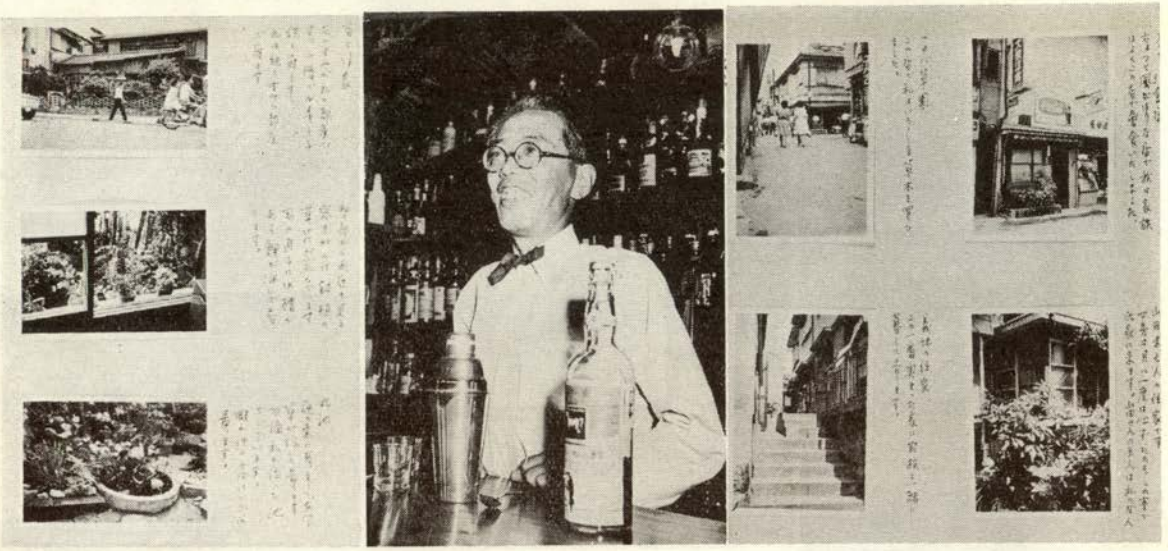
るということだが、この精神は、日本の社会では驚嘆すべき異風土といえる。

ハイカラの伝統の古さは、このバー一軒をみてもわかるような気がした。私は店内を見まわしながら、（なるほど、ハイカラ文化財だな）と思った。——

この司馬氏のアカデミーを見る眼は確かだ。七年後の今主人の杉本氏が亡きあと、このハイカラの伝統を、現在の神戸の酒場がうけついで、他都市にないカラーをつくり出している。やながせ、ルル、ギルビー、ひらき、あぶはち、キャンティ、らんぱらすなど、すぐ頭に浮かぶほど、これらの店は洋酒をのませる良い店であって、すべてマスターが主人だ。いつのまにかハイカラ文化財アカデミーは、港町のユニークな良き気風を夜の街に浸透させてしまっている。このハイカラの伝統を、わがものにしてしまったアカデミーは、ただ、神戸という風土にあったからつちかわれたものだといえるだろうか、いや、それだけではこうも地につくまい。そこに杉本さんの人間味が加わってできあがったもののように思えるのだ。

これも安部さんへの葉書きである。

——女房の病気のこと、おたづね下さいまして、嬉しく思いました。画のように、私は貝になりたい思いでした十一月初めに癌と判明、夫婦で一応別離の悲嘆にくれて相抱いて泣いたんですが、十九日の手術で生死の決定これも超えて、生きた生きたと夫婦で相抱き歓喜しました。それから手術のために必要以上に切った尿道その他の修理のため目下休養回復につとめております。上半身は素晴しく元気で、これでも病人かといった様子です。毎朝病院に参り世間ばなしをしています。時には泣くこともありますが、笑うこともあります。もう一度切開して、漏水、その他を修理するんですが、宿題を残して遊んでいるような気持です。心配すればキリがありませんけれど、癌は全く子宮の除去で成功したと医師が申しております。その後のことは、病気でなくて破損ということです。うまくリベヤーできるか否かです。また報告しま



す。お心配してもらいすみません。（34・1・10）

そして、杉本さんの奥さんにお目にかかった。一緒に飲んでいた安部社長が、メリー・クリスマスとかいたオリエンタル製のドライパイをプレゼントすると、「これを奥さまに」と切紙の手製くず箱を、エクボのうかぶ笑顔で手渡す、その心づかいが憎いというよりうらやましかった。暮れの二十七日は、去年の二月になくなった杉本さんの命日だった。小部屋は、質素だけれど掃除がゆきとどき、仏壇には自画像が飾られていた。お葬式のときには写真でなくこの絵がかざられた。白い布におおわれた小さな骨壷がまだ置いてある。

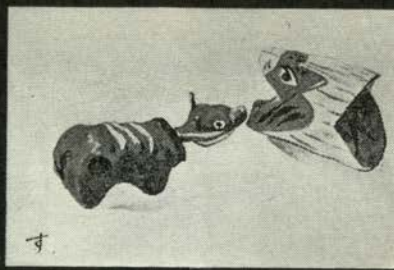
「お骨を早く納めないといけないんですけれど、淋しいからまだ私のそばにあるんです。壷をゆさぶるとカタカタと骨の音がしますねん。お父さんおやすみと声かけて寝ますねんけど、息子らに〝お父さん食べてもたらいかんでえ〟なんてからかわれましてね」とまたエクボの笑顔だ

このエクボが縁で杉本さんと結ばれた。

お嫁入りは昭和二年。十九才だった。上筒井にアカデミーがあったとき、杉本さんが近所の玉突場へ通った。ユーモアを解する健康そうなエクボの女の子に恋をしたからだ。年は十二違う。その頃、青空さんというのが杉本さんのあだ名だった。マイ・ブルー・ヘブンが好きでそこからつけられた。亡くなる前まで、このレコードがかかると、子供たちの前で〝お母さんと踊るよ〟と見せつけた。どこへでも夫婦で外出する。ハイカラだった。ギター、マンドリン、ダンス、ゴルフ、アイススケート、絵、碁、なんでもコリ性でやりだすと熱心に根をつめてものにした。だから一筋道をトコトンつっこんで行くのが良いことだという信念を持って〝替える〟ということを一番嫌った。

上筒井の店が区かく整理でだめになり、布引の太い道で加納町の北側へ店をうつしたが、空襲で焼けた。哲夫、紀夫、国夫と三人の子供をかかえて終戦を迎えたが、客の引立てで昭和二十一年十二月二十五日にアカデ

今は次男の紀夫さんがアカデミーの主人である。



賀正
神戸のために
いろいろとやって下さって
ありがとうございます。
（38・1・1）

ごぶさたいたしており梅雨で暖い日が多くて陰気でございます。お変りなくおすごしですか。むらさき菜種も終りまして、種を採っておきました。いつごろ蒔くのか、また教えて頂き、来年もたのしみたいと思っております。頂いた金魚草もよく咲きまして毎朝楽しくながめております。明日から郵便料金が値上るので、このハガキを書いているようで、おかしいです。
（41・6・30）

ミーは再開した。この空襲で家が焼けた時から、人生感がガラリと変ったそうだ。百姓をして苦労を重ねたが、欲がなくなった。自分はものを沢山もたなくてもいいんだ、と考えると楽な気持になったのだ。

「普段はユーモラスな楽しい人だったけれど、商売にかけては厳しい人でした。コーヒの入れ方が悪いと袋ごと頭からかけられたり、気に入らないことがあるとタンスの中に水を入れて着物をひきさかれたり、生きることにはとてもきびしい人でした。でも、ふりかえってみるとお父さんとともに暮してほんと楽しかったですね。商売は商売、家庭は家庭で大事にしまして、家庭を大事にするから商売ができるのや、毎日のつみ重ねが貴いのやといいましてね。私はほんとに幸せものでした」

杉本さんの出身は京都。京都一高を卒業している。家は綿屋で、ものを粗末にするともったいないと大切にする古い商売人かたぎがあった。また、日常壊われたものは何でもなおして使う。修繕屋の名人で、鍋のふたでも、眼鏡の折れでも器用になおした。

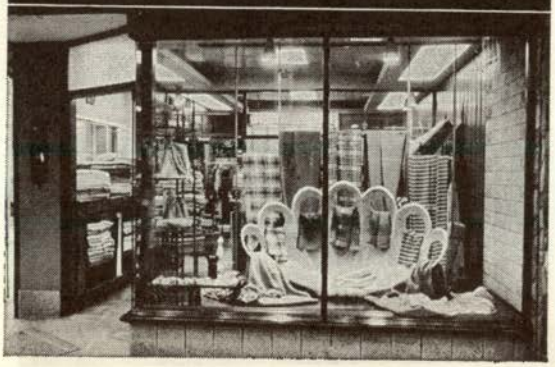
杉本さんは古都に育った反動で、ハイカラさと神戸の気楽さ気がに入ったのではなかろうか。しかしこのハイカラな西欧文化の良い面を強力に吸収する一方、京都人のもつ、良いものを身につけてそれを自分のものとして年輪を加えて大事に育てる強烈な持続精神を持っていたのだと思う。アカデミーのなかに十八世紀を感じるのはこのBARに時代をつけること、一本筋を通すことをかたくなに守り通した杉本さんの人間性にあると思う。よく「アカデミーのおっちゃん死んだんかーと、いわれるように死んでゆきたい」と夫人にいっていたそうだ。その言葉通り、精神的な豊かさを悠々と味わって生きぬいた神戸っ子といえよう。

『何でもかんでも
思うようになる人生はてんで物語りになりません。
立派な生涯というのは
思うようにならぬ一生を生きぬくことでしょう。
（33・3・1）』

Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL㉝5689



Akira Beauty Shop

美容室

あきら　西野 明

電話予約制

三宮本通り　TEL㉝4461・6458